

# 新型コロナウイルス感染防止のための避難と備えについて

災害時、危険な場所にいる人は避難することが原則です。新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも安心して避難できるように市役所も準備をしていますが、皆さんも「自分の命は自らが守る」意識を持ち、事前の準備と適切な避難行動をとりましょう。

## 事前の準備

ハザードマップなどで、自分の住んでいる場所が危険かどうか判断し、避難時の行動のための準備をしておく



## 避難時の行動

感染防止のため、まず①・②を検討してみましょう

### ① 在宅避難（安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません）

浸水や土砂災害の危険性がなく、自宅に留まることが可能な場合は、自宅で避難生活を送るための災害用備蓄などに努める

### ② 親戚や友人宅などへの避難

自宅以外の避難生活が必要な人は、避難所が過密状態になることを防ぐため、できる範囲で安全な地域にお住いの親戚や友人宅などへの避難を検討する

### 上記の①、②が困難な方は避難所へ避難

危険な場所にいる人は避難することが原則です



### 「新型コロナウイルス感染症対策としての非常持出品」

例：体温計、マスク、アルコール消毒液、石鹸、（ペーパー）タオル、使い捨て手袋、ハイターなどの消毒剤、防寒・熱中症対策用品、筆記具、上履き等



避難所に避難した場合、安心して利用いただくために下記区分に分かれて過ごしていただきます。

## 一般避難所

避難所到着

手指消毒・マスク着用

評価票記入・検温・判定

### 評価票による区分判定

A（強い症状）高熱、倦怠感等

B 濃厚接触者、PCR検査結果待ち

C（軽い症状）鼻水、せき、喉の痛み等

D 感染した場合の重症化リスク有り

E 上記以外

別室又は  
車両待機

有症者  
受付

一般受付

専用避難所

有症者ゾーン

有症者室

無症者ゾーン

ハイリスク室

一般室

避難所の職員は、感染防止衣を着て対応します